

わたしたちの町

人口(男) 4,635人 (女) 4,978人 合計 9,613人 8月中の転入 33人 転出 18人 世帯数 2,315世帯

(8月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和57年9月18日 第292号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月15日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'82/9月 292号

『世界一の入場行進』

大野台の里運動会



盆踊り・花火大会も

大野台の里では八月二十一日、大運動会を開催。前夜には、盆踊りと花火の大会を開き、園生、父兄、職員、町の関係者をあわせて楽しい思い出をつくりました。大野台の里では例年お盆に帰省し、その帰りを付きそつてきた父兄といっしょに運動会を開いてきました。今年第十七回大会。千人を超える大規模な大会になりました。園生のフラワーガールと鼓笛隊を先頭に入場行進。明るくはつらつとした行進に「世界一のすばらしい行進です」と木村士郎管理者があいさつ。二十五分、五十分、百分、パン食い競争、水ため競争、マラソン、綱引きなど十三種目に歓声が飛びかいました。一泊二日の大野台の里での行事に、父兄も感激のようす。親子で走る「デカパン競争」にはひとときわ大きな拍手がわいていました。

第17回大会

待望の三施設に着工

同時に工事すすむ 町民体育館・診療所

町では町民体育館と町立診療所の建築工事を発注。二大施設の建築が平行してすすめられています。二つの工事が行なわれている合川中学校の隣接地には今年すでに農村環境改善センターと保健センターが完成。各施設をあわせて教育・健康・医療・福祉などの総合的な「夢の施設」が実現することになります。

太陽熱利用の 近代的設備

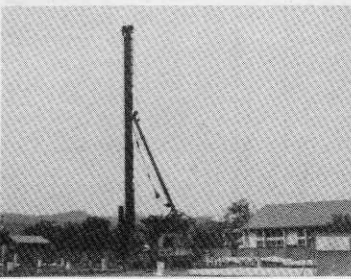
新診療所は鉄筋コンクリート平屋建て。診療室、待合室、事務室、入院病室十九床などのほか車庫と医師住宅を建設。保健センターを併設して健康づくりと医療が結びつくことになりました。国の助成により太陽熱を給湯と給食に利用する最新式のしくみを採用。屋上の七十七枚の集熱器が目をはきそうです。寝たままに入れる入浴室を備え入院患者の衛生管理は万全。レントゲン設備も一新し高度な診察ができるようになります。診察室は医師二名、歯科一名のスペースを確保。将来の充実が待たれています。

診療所工事は十二月二十日が竣工期限。明年一月からは新診療所での診察を予定しています。

全館暖房 観覧席が四百四十

町民体育館は鉄筋コンクリート一部二階建て。体育室、事務室、ステージ、観覧席などの全館に暖房付きの設計です。新体育館は農村環境改善センター、中学校とつなぐ構想もあり、有効な活用が図られることになりました。

体育室は三面でバレーボールの試合ができる広さ。観覧席は四百四十席。電光得点表示装置を備え各種競技に活用されます。年々高まりを見せるスポーツ熱。多くの町民から町民体育館の実現にむけて強い要望が出されています。新体育館はステージを利用し



四番目の 誘致企業

来年六月操業

大野台工業団地に四番目の誘致企業として「三友電気株式会社」の来年六月操業が決まりました。同社は、電気、船舶、医療機器などに使用するプラスチック材料の加工専門メーカー。先に操業した大野台電機株式会社は、電力会社に納入する雪害対策用リングなどの加工を行うことにしています。

明春、雪解けを待つ工場建築に着手する計画で投下資本約二億円。操業時に二十名の雇用を予定。中高年齢者の就業も見込まれており期待されています。

町長日記から

健康はあらゆるものの元締めである。ことしの健康まつりは、行事主体から趣向を変えて、実践中心に企画されたが、参加者がバラエティーに富み、それぞれの分野に極めて盛況であった。理屈抜きに健康づくりに参加する姿ははつきりして、後味のよい行事となった。健康は健康でない人の健康社会への復帰の願望も加えてゆくことが大切で、今、町立診療所の工事も進んでおり、この施設とさらに町民体育館ができること、すべての町民がそれぞれに参加できる行事を企画することができ、来年の健康まつりは、さらに飛躍的に行事になることが予想される。(義)

たばこ一本百七十万円 ストープ一台三百八十万円 これは原因別の一件当りの火災損害額です。タバコの小さい火、ストープのぬくもりの火が家財や、時には生命を奪います。火災と事故を防ぎ 明るい町をつくりましょう。



秋の虫

「虫」という字は、昔は「蟲」と書いたんですけどね。虫がいったい何から、虫の字を三つも書いたのかしら」と、ある小学生が言ったそうです。なるほど、虫が列をつくっているようでもあり、にぎやかな鳴き声が聞こえてくるようです。ガチャガチャはクツムシ。馬がくつわを鳴らす音。スイッチョ、スイッチョはウマオイ。馬をしかる時に舌うちする音。そう教えられても、馬を飼うことがなくなった今の私たちにはピンときません。コオロギは「肩させ裾(すそ)させ」と鳴いて秋の深まりを教えているのだそうです。スズムシはリーニン。マツムシはチンチロリン。この夏、当町にも買われた虫が相当に入り込んだと聞きます。日本人の虫の音を愛する歴史は中世以前からあり、江戸時代には、すでに「虫売り」が虫を売り歩いていた。この夏、昆虫採集を楽しんだ子どもたちも多いことでしょう。虫たちとのふれあい。自然の恵みの中でたくましく、心豊かな子どもたちを育てたいものです。



第五回健康まつり

健康づくりの意欲を総集して

走り回る子どもたち。ゲートボールを楽しむお年寄り。チビツ子から八十代まで、幅広く自主的に参加した健康まつり。「自分の体は自分でつくる」をあい言葉に健康を築き、確かめ合いました。

「お母さん、おいしいね。」健康料理を試食。健康まつりは八月二十二日、農村環境改善センターを主会場にして開催。各団体が健康づくりにあわせた協賛行事を組み、「まつり」を盛り上げました。

健康まつりは八月二十二日、農村環境改善センターを主会場にして開催。各団体が健康づくりにあわせた協賛行事を組み、「まつり」を盛り上げました。



健康づくりの地道な活動を表彰。

楽しい 美しくたくましく

よってさらにこの意欲を高めよう。とあいさつ。体力づくり、皆検診、環境衛生の誓いなどを盛り込んだ大会宣言を全員で確認し合いました。

健康まつりでは九月七、八日、小坂町を中心に移動研修を行いました。部属の衛生指導員はじめ四十名が参加。小坂町では助役、住民課長、保健婦さんを囲んで意見を交換しました。

健康大学移動研修 やはり課題は 皆検診



健康料理を試食。

健康大学では九月七、八日、小坂町を中心に移動研修を行いました。

婦人会では健康づくりをテーマに「婦人祭」を開催。県青少年婦人課、渡部博昭参事が「生命軽視の事故や事件が絶えないう。命の大切さをしっかりと育てたい。過保護、ベツト化が危険を知らない子どもをつくつ

その中では、「一定の成果をおさめ改善がすすんできている」と総括。今後の課題として「事業所などとの連携の強化」「市民の自発性の向上」「病弱な人

健康大学では九月七、八日、小坂町を中心に移動研修を行いました。部属の衛生指導員はじめ四十名が参加。小坂町では助役、住民課長、保健婦さんを囲んで意見を交換しました。

東京大学医学部の保健社会学教室、秋田県・合川町の三者が協同で調査研究した「保健福祉の町づくり」についての報告がまとまりました。

健康の町づくりの提言

東京大学と協同研究報告

第一部は「合川町の概況と活動の経過」、第二部は「昭和五十五、五十六年度の調査報告」

先生はじめ八名の先生がたが専門分野から当町を分析。死亡原因、検診、高血圧対策、脳卒中後遺症者のきめ細かい調査から、提言がまとめられています。

健康の町づくり、などがあげられています。また、「保健、福祉、教育などの活動の拠点としての施設整備は大きく前進しよう」として

いざという時

命を守る冷静さ

9月9日 救急の日

九月一日は防災の日。九月九日は救急の日。各地で私たちの命を守るための訓練や講習が行なわれました。

大切な応急手当

○救急車が到着するまでに次のことを行ってください。1、応急手当。2、かかりつけの医師との連絡。3、救急車を誘導するために道路に出る。

- 1、救急車が着くまでの容態 2、応急手当の内容 3、持病があればその病名など

救急車の出動は一刻一秒を争います。本場に必要の人がいつでも使えるように、緊急に搬送する必要がある人や、タクシーなどを利用できる人は救急車を利用しないでください。

また、応急手当が適切であったために命が救われた例もあり。人工呼吸、止血、病気の手当など法などを身につけておきましょう。消防署では、必要に応じて電話で処置方法を指示します。あわてずに冷静に対応することが大切です。

応急処置方法の講習の要望は、広域消防合川分署（電話二一九）または町保健センター（電話四二七二）におよせください。救急車が緊急の場合に、有効に活用できるように、日頃から心がけておきたいものです。



ふえていきます

二輪車の事故

9月21日～ 全国交通安全運動

二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が展開されます。

今年の運動の重点は①歩行者と自転車、子どもとお年寄りの事故防止 ②二輪車（バイク）の安全運転、ヘルメット着用、安全運転の励行、飲酒運転の追放 ④シートベルト着用促進

町では、安全協会合川支部を中心に安全運動を行ないます。各家庭では、交通安全旗の掲揚、「ひと声運動」など、町ぐるみの安全運動に協力ください。

交通事故による死者数は年間六十万人を超えています。こうした中で、このところ原動機付自転車・バイクの死亡事故がふえています（下表）。バイクの安全のために、次のような点に気をつけましょう。

制限速度は三十キロ

① 法定速度を守ろう 原動機付自転車の法定速度は時速三十キロ。三十キロを超えて走るとは違反です。二輪車は安定性が悪いため、急ブレーキなどで転倒しやすく、急発進も事故のもとです。

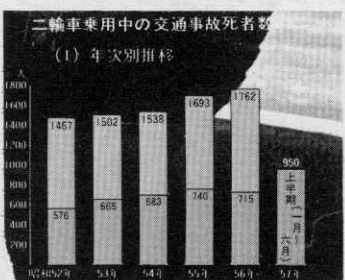
スピードの出すぎにならないように注意しましょう。② 一時停止、徐行などをしっかりと守ろう 一時停止の場所や見通しの悪い場所では、必ず止まって確認しましょう。交差点では左右を確かめ、徐行をし慎重な運転を心がけましょう。

③ 道路の左側の端を走ろう 中央線側を走るのは危険です。なるべく左側の端を。みだりに中央線側に寄り過ぎると急いで進路を変えたりすることはいけません。無理な追い越しは絶対にやめましょう。

④ バイクの車から見えやすいところを走ろう バイク、自転車は車の運転席から見えにくい場合があり、車との間隔を広くとるなど、巻きこまれない注意が必要です。

⑤ 必ずヘルメットを 死亡事故の約七割は、頭部のケガによるものです。ヘルメットは絶対に忘れられませぬ。ヘルメットは良質のものを選び、あごひもをしっかり結びましょう。

⑥ 点検と保険を忘れずに 乗車する前にブレーキ、灯火などの点検をしつかりと。無保険の運転は違反です。必ず確認してください。



（総理府資料から）

上杉子ども太鼓が四方に響きわたる、ふるさと祭りが開演。部落民が一体となって繰り広げられた季節踊り、川井駒踊り。伝承の歴史をしのびせる福田獅子舞——阿仁川に映るマトビと郷土芸能の競演。そして観客も一体になって総参加盆踊り大会。それぞれの人がふるさとへの思いをこめて、暑い夏を楽しみました。



↑会場をかざった駅前ねぶたのとうろう。

ゆく夏の思い出

8月14日
マトビ・ふるさと祭り



↑中国研修生や帰省客も入って盆踊りは大きな輪に……。



↑中学生の点火したマトビが川面にゆらめく



→シッサー、シッサーのかけ声に勇壮な駒踊り



↑子ども太鼓のみごとなパチさばきが観客を引きつける。

町職員の募集

採用試験のお知らせ

受付は十月十二日まで

合川町職員採用試験(秋田県町村職員採用統一試験)を次のとおり行います。

一、試験区分及び採用予定
一般事務 初級二名

二、受験資格
(1)昭和三十三年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた者
(2)日本国籍を有し、禁治産など欠格事項に該当しない者であること

三、試験の方法
(1)第一次試験 教養試験

高等学校卒業程度の一般的知識についての筆記試験
(2)第二次試験 口述試験、作文、身体検査、身上調査
個人面接による主として人物についての試験、主として文章表現力等についての試験、職務に必要な健康度の検査、受験資格及び申込書記載事項の真否についての調査。(第一次試験合格者のみ)

四、第一次試験の日時・場所
日時 昭和五十七年十一月七日

日(受付開始)午前九時
場所 秋田市 秋田経済大学
第二次試験は第一次試験合格者に通知します。

五、合格者発表
役場前掲示場に掲示し、合格者に通知します。第一次合格者発表は十二月上旬最終合格者の発表は十二月下旬の予定です。

六、合格から採用までの経路
最終合格者は任用候補者名簿に登録され、そのうちから採用者が決定されます。

七、給与
合川町給与条列により、八、受験手続及び受付期間
(1)申込用紙 申込用紙は役場総務課にあり。郵便で請求する場合は、切手をはった返信用封筒を同封して

ください。

(2)受験申込先 合川町役場総務課
(3)受付期間 昭和五十七年九月二十五日から十月十二日午後四時半まで。郵送の場合も締切日時まで役場に届いたもの限り受付します。

(4)申込書類 所定の申込書一通

九、その他
(1)申込を受理された申込者には受験票を交付します。
(2)受験票には指定の写真をはり試験会場に、持参ください。写真がないと受験できません。
(3)試験についての問い合わせは役場総務課でお答えします。

親子映画会 文部省特選

●教育は死なず ●ひめゆりの塔

出演 江利チエミ、長門裕之 他。
全国で話題を呼ぶ感動の2作品!!

■前売券 大人 800円・子供 300円
■役場福祉課窓口または各部落親子会担当所で
■日時 9月22、23日 昼1時、夜6時上映
■会場 農村環境改善センター

カメラ特集

町のこよみ

(行事予定)

- 19日 クリーンふるさとデー
- 19日 東・南・北保育園運動会
- 20日 部落対抗ゲートボール大会
- 21日 町議会定例会(予定)
- 23日 西保育園運動会
- 24日 一人ぐらしのお年寄りとエコーハウスの交流会
- 25日 大館北秋田農業青年交流会(会場 合川町)
- 10日 百キロコンペ体育の日の会(各部落コース)
- 17日 町民オリエンテーリングの集い
- 23日 北秋・秋田シンポジウム

地籍調査事業の本閲覧

昭和五十六年度に調査した地域について、一筆ごとの地目、地積等の地図および簿冊が確定しましたので本閲覧を行います。この閲覧によって、土地所有者の皆さんがそれぞれの所有地を確認いただく大切な閲覧です。閲覧の期間と場所は次のとおりです。

- 道城地区 九月二十七日 道城児童館
 - 上杉地区 九月二十八日 上杉児童館
 - 下杉地区 九月二十九日 下杉公民館
 - 川井地区 九月三十日 川井公民館
- 時間は以上各地区とも午前九時半から午後四時半まで。右記以外の地区は九月二十日から十月九日まで。役場会議室
- 時間は午前八時半から午後五時十五分まで。
- 閲覧の結果、誤りなどがある場合には十月九日までに、訂正の申し出をしてください。訂正の申し出は印鑑が必要です。

年金

年金が引き上げられました

国民年金法が、八月五日の国会で改正されました。国民年金は物価が一定幅以上に上昇すると、それに合わせて改正されます。今回は物価上昇率が四%とされ改正の必要はありませんでしたが、特別に改正し、引き上げられたものです。

あわせて、福祉年金も引き上げられました。年金額の改正については、各対象者に通知されます。くわしい内容等は、役場福祉課におたずねください。あなたの年金をお確かめください。

ご協力ください 赤い羽根募金

十月一日から赤い羽根共同募金運動が始まります。共同募金運動は戦後まもない昭和二十二年に産声をあげて以来、今年で三十六回目を迎えます。その間に寄せられた善意の総額は約千七百四十二億円。いろいろな社会福祉事業をすすめるために役立てられています。たすけ役の心「やさしさ」を隣人に。今年も、部落の共同募金会担当者が各家庭を訪問します。ご協力ください。

出かせぎ者 合同選考会

出かせぎを希望されるかたは職業安定所を通じて安全な職場に就労ください。次のとおり、

ゴミ投棄は 届出制です

ゴミ処理場の休業時間は次のとおりです。原則として受け付けしません。

▽日曜日
▽土曜日と祭日の午後▽平日の時間外(午後五時から午前八時半まで)

事前に役場保健課に届け出し、許可を受けてから搬入してください。

家の解体などの粗大ゴミは平日の場合でも、前日までに届け出し、許可書を受けたもの以外は受け付けませんのでご注意ください。

観光秋田

まごころで むかえましょう

秋田県の観光発展をめざす。「まごころ秋田」運動が展開されています。

この運動は各町村の特色をいかした観光客の誘致と、心のふれ合いを呼びかけたものです。当町でも大野台ハイランドを中心に、この運動に参加しています。遠方の知り合いのかたなどに、「まごころ秋田」を紹介ください。「まごころ」ふれあい」を大切に。あなたもこの運動の一員です。美しい秋田の印象を県外の人に届けるために協力ください。

まごころ秋田の資料は、役場総務課窓口でどうぞ。

乾燥機の火災に

気をつけましょう。

わが家のわたしの宝もの

13

明治21年3月1日生まれ。94歳。町の長寿横綱です。「若い時にうんと働いたのが、運動になったのだと思います。若いころは山仕事に歩き、樺太で山頭をしたこともあります。一生けん命に働いて、何でもまいと思つて食べたのがよかったのでしょう。ワツパメシ2つ、1升2合を1回にたいらげたものです。」

畠山さんは篤農家としても知られています。「新潟県庁まで出かけて、指導を受けてきました。畑にまいて、苗代に仮植し、田んぼに植える方式をとり入れ、成績をあげました。当時は、阿仁部が一番の技術者であつたと自信があります。今でも木戸石部落だけで、もう100俵くらいはとれると思います。」

「農芸得業士」の称号のある畠山さんは、畑仕事は現役。田の見回りも日課です。

その健康を支えているのが薬酒だといひます。「自分でとってきた薬草で漢方薬をつくっています。戦後まもなく覚えて、続けています。その日の気分によって薬を選び、チワリチワリとやっています。マタタビ、キハダ、ニンニク、ノビル、イカリ草、などの薬酒が30本近く。高血圧予防、心臓病予防、胃ガン予防などそれぞれに効能を教えてくださいました。」

「足をケガした時も医者にかからず自分の薬でなめました。近所の人がよくもらいに来ます。20種類以上の薬草をまぜた「秘薬」もあり『百歳酒』と名付けています。」

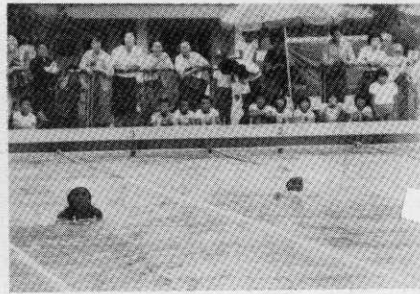
「孫は50人以上、やしやら孫もいますが、何人かわからなくなりました。100まで生きようとがんばってききましたが、足腰が弱ってききました。-老いの身は遠く思える敬老日、指折り待ちし 今日のうれしさ-」

俳句の趣味もある畠山さんに敬老の日を迎える気持ちをうたっていたいただきました。



木戸石 畠山 熊之助さん

『百歳酒』 長寿横綱 自家製の薬酒



大会水泳大会

西小 真紀子さん
麻 子さん
新記録樹立

第十三回児童水泳大会は三十日、北小プールで開催。小雨もよりの天気にもかかわらず元気いっぱい、「カッパ」たちが大歓声をあげていました。成績は次のとおりです。

- 橋珠理(北)②工藤清子(東)③福田由美子(南) 男子①北林了以(東)②伊東利光(南) 六年女子①森岡伸子(東)②佐藤美奈子(北)③三浦志保子(南) 男子①武石大志(東)②安部厚志(東)③藤島英樹(北) 五十歳平泳五年女子①成田真紀子(西)②五秒五二大会新 ②奈良佳代子(北)③成田留理子(西) 男子①平川慎也(西)②平川守(西)③新田正和(西) 六年女子①藤島亜紀子(北)②松岡香理(北)③平川恵理子(西) 男子①工藤茂宣(東)②佐藤義孝(北)③藤島幸成(北) 五十歳自由型五年女子①成田麻子(西)②四秒七六大会新 ②成田真紀子(西)③藤田恵子(東) 男子①清原利光(西)②金田宏太郎(西)③金田孝久(南) 六年女子①三浦和歌子(南)②三浦志織(南)③齊藤博美(西) 男子①木村真(西)②越高光弘(東)③福田一博(南) 百歳背泳女子①森岡伸子(東)②工藤清子(東)③相馬洋子(東) 男子①武石大志(東)②安部厚志(東)③百歳平泳女子①上藤智亜紀(東)

町相撲大会「川井」が優勝

町民相撲大会は八月十五日、道城神社相撲場で開催。各部落の代表選手の大熱戦で盛り上がりました。成績は次のとおり。団体戦小学生 優勝 木戸石 勝川井 ②上杉 ③道城 個人戦小学生 優勝 三浦一成(三木田)②越高光広(駅前)③金田義久(摩当) 中学生 優勝 畠山慎久(木戸石)②鈴木晴彦(鎌沢)③成田秀典(李井) 一般 優勝 吉田喜代志(川井)②工藤義隆(上杉)③松橋亨(三里) 三人抜き小学生 工藤保(上杉) 中学生 米倉義彦(上杉) 一般 工藤一也(上杉)

みんなでつくる

おとしよりを たすけたあとは いいきもち

東小学校四年 斉藤逸人さん
福祉の町

第七回産業文化祭記念講演



講師に山田典吾氏来町

第七回町産業文化祭は十一月六、七日に開催します。現在、主催団体の打ち合わせを重ねていますが、記念講師に映画監督の山田典吾氏の来町が決まりました。山田氏は昭和四十七年記録映画「太陽の詩」で文化庁優秀映画奨励賞を受賞。中沢啓治原作「はだしのゲン」で国際的な賞を受けています。昭和四十八年再婚し、長女が精神障害者であったことなどから、精神障害者をテーマに「春男の翔んだ空」を撮影。精神薄弱者の理想郷を夢見た「みよが村見聞記」、昭和五十六年国際障害者年を記念した

「裸の大将放浪記」の監督として知られています。夫人 山田火砂子氏はプロデューサー。「心」を訴える二人三脚の映画づくりは、多くの感動を集めてきました。講演は十一月六日(土)の午後から。山田氏は前日に来町し、大野台の里を訪問する予定です。演題は「映画とわたし」。福祉の町にふさわしいすばらしい講演が期待されています。

ポスター・テーマを募集します

募集内容 一、ポスター

二、テーマ

いずれも合川町の象徴と発展につながるものであること

▽応募条件 町内に住所または勤務先を有する人。ポスターは三色以内。

▽締切 九月末日

▽表彰 特選各一点

▽入選各若干

▽応募先 合川町李岱 農村環境改善センター内 産業文化祭事務局

▽審査員 主催団体長及び町内各校会

図書 だより

21

ご利用下さい

図書分室

一冊の本

オコジヨのすむ谷

写真・文 増田辰樹

オコジヨは中部地方より北の山岳に住むイタチ科の動物。県内では鳥海山などで、頂上付近のガレ場(岩場)に住んでいます。もともと珍しい動物ですが近年、ますます数が減っていると言われます。

この本はオコジヨの撮影記録です。北アルプスの大自然の中で、愛くるしいオコジヨの表情は思わず抱きあげたくなるほどです。美しいカラー写真。童話のような観察記録。半年間の観察日記。作者といっしょに北アルプスを歩いているような気持ちになります。大人も子どもも楽しめる感動的な「絵本」です。

読書感想文全国コンクール課題図書。図書室にはその他、多くの課題図書をそろえています。

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しにかえて〕

- 小林寛蔵 道城(故母 アサ)
- 福岡 隆 三里(故父 義助)
- 金田 明 西根田(故父由五郎)
- 福岡与太郎 三里(故長男光雄)
- 木村チヨ 弥栄(故夫 広勝)

〔広報郵送料として〕

- 埼玉県上尾市平塚 藤島喜八郎
- 埼玉県川口市芝 佐藤 ツマ

福祉バス

グット新しく なりました

福祉バスが新しくなりました。今までより一まわり大型の二十九人乗り。乗り心地の良い新型です。役場内社会福祉協議会窓口にて申込みの上、ご利用ください。

福祉の町の足。デラックスな福祉バス。

募集 全国感想文 コンクール作品

児童、生徒、勤労青少年を対象として、第二十八回青少年読書感想文全国コンクールが行なわれています。読書の秋。日頃の感想をまとめ、応募ください。

町図書室では、各地区に図書分室を設けています。分室には子ども用、一般用の図書を置いてあります。その場で読むことも、借りていくこともできます。気軽にご利用ください。

図書分室は次の皆さんにお願いしています。(敬称略)

- ▽道城児童館 木戸石児童館
- ▽下杉児童館 木戸石児童館
- ▽増沢 杉淵福松宅 八幡宿高橋久雄宅 北保育園 新田目児童館 福田 鈴木清七宅 羽根山 松岡久雄宅 藤岡勝蔵宅 西根田 金田悦財門宅 東根田 佐藤修助宅 三三 松橋文助宅 三木田 三浦長四郎宅 鎌沢 御所野信助宅

お誕生おめでとうございます

松橋美樹 博徳長女 三里

工藤 梓 和則長女 上杉

佐藤 香 一美二女 川井

松橋勝大 勝美長男 金沢

文 卓哉 恵典二男 駅前

●謹んでお祝い申し上げます

- 齊藤与市 64 本人 駅前
- 木村広勝 54 本人 弥栄
- 金田由五郎 78 明の父 西根田
- 金田平吉 95 平蔵の父 羽根山

〔おわび・訂正〕

広報前号のお誕生欄の宇津宮奈津子(隆司長女駅前)・白渡恭平(久長男 八幡宿)は宇津宮奈都子・白渡恭兵の誤りでした。謹んでおわび申し上げます。